

2022 年 12 月 23 日

委員会設置提案書

提案者（理事名） 原 和彦

委員会の名称	自動車照明と道路照明の融合による交通照明の最適化に関する研究調査委員会
英文表記	Research Committee on optimization of traffic lighting by integrating automotive and roadway lighting
事業部門	照明に関する研究・調査事業
関連常置委員会名	分科会運営委員会 視覚・色・光環境分科会
設置の趣旨	<p>夜間の交通環境の安全性向上に向けて、標識や障害物の視認性を高めるために、道路・トンネル用照明と自動車用照明は、これまで独立して研究開発されてきた。しかし、近年 SDGs やカーボンニュートラルの実現の期待が高まり、また、その具現化の手段となりうるデジタル・トランスフォーメーションが進む中で、道路照明と自動車用照明とをこれまでのように別々に扱うのではなく、両者を融合して夜間の交通環境の視認性の改善を考えることがより効率的かつ効果的であると考えられる。</p> <p>当研究調査委員会では学界と産業界の専門家が議論して、まず運転行動と視対象が限定された自動車専用道路において道路照明と自動車照明とをデジタル技術で連動制御することによって実現できる最適な視環境を定義する。それと現状の道路照明および自動車照明とのギャップを把握し、そのギャップを生じている課題を抽出する。さらにその課題を解決するための仮説を立て、原理確認を行う。</p>
予測される成果	現状の交通環境における課題とその真因を明らかにし、それを解決する原理確認を実施する。
成果のフォローアップ (会員への還元)	委員会活動終了後に報告書を作成する。また、公開研究会を開催し、委員会活動により得られた成果を報告する。
委員会の構成 (氏名：所属)	委員長（予定者）明石行生（福井大学） 幹事（予定者）伊東勇人（ネコ東日本エンジニアリング）、木村能子（スクレー電気） 委員 江湖俊介（岩崎電気）、篠田博之（立命館大学）その他 10 名程度
設置期間	2023 年 4 月 ～ 2025 年 3 月
委員会開回数／年	4 回程度
活動計画	1. 既往研究の調査 2. 自動車専用道路において運転行動に必要な視覚情報の抽出と整理 3. 自動車専用道路に適した照明環境の定義 4. 自動車専用道路に存在する各交通照明の特性明確化 5. 現状の問題点と解決すべき課題の明確化 6. 課題解決のための仮説設定と原理の検証
経費 委員等の旅費の支給対象の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（理由：対面での議論が必要なため） 支給対象者名：大学関係者 支給予算額：78000 円 <input type="checkbox"/> 無
備考	

理事会の承認	承認 年 月 日
--------	----------